



病診連携通信

第10号

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂綜合病院
平成28年2月

精神鎮静法を併用した歯科治療のご案内

歯科治療(抜歯、歯根端切除、嚢胞摘出等)を行うにあたり、不安感や恐怖感を抱く患者さんは少なくありません。当科では、そのような患者さんの不安感や恐怖感を和らげ、寝たような状態で治療が受けられる精神鎮静法を用いた治療をおすすめしています。

精神鎮静法は2008年に社会保険診療報酬に収載され、ベンゾジアゼピン系薬剤(ミダゾラム、ジアゼパム等)や静脈麻酔薬(プロポフォール)を使用する治療法です。当科ではベンゾジアゼピン系薬剤の使用に慣れていますが、循環抑制作用や呼吸抑制作用に細心の注意を払うため、術前検査(安静時心電図、胸部X線、血液検査等)と術中術後の生体モニター管理を必要とし、手術当日の1泊入院を基本として安全に配慮しています。

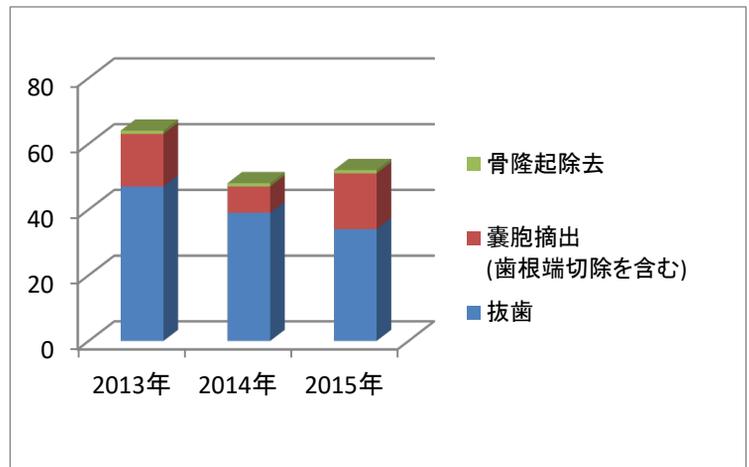
1泊することにはなりますが、手術中の不安感や恐怖感が払拭され、術後には何も覚えておらず(逆行性健忘にて忘れてしまっている?)、ほとんどの患者さんから快適に治療を受けることができたと評価されています。最近3年間の症例数を下にグラフで示しました。

歯科治療に不安感や恐怖感をお持ちの患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽にご相談・ご紹介くださいますようよろしくお願いいたします。
(歯科口腔外科: 小板橋 勉)

静脈内鎮静下での治療風景



最近3年間の症例数



寿泉堂綜合病院では地域医療支援病院として病診連携を推進しています。

患者さんのご紹介や外来診療に関するお問い合わせは

寿泉堂綜合病院 地域連携室 ☎024-927-0760 (直通) または
☎024-932-6363 (代表)

にお願い致します。